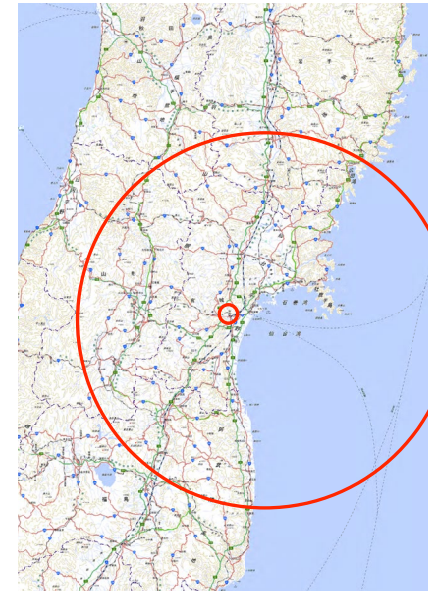
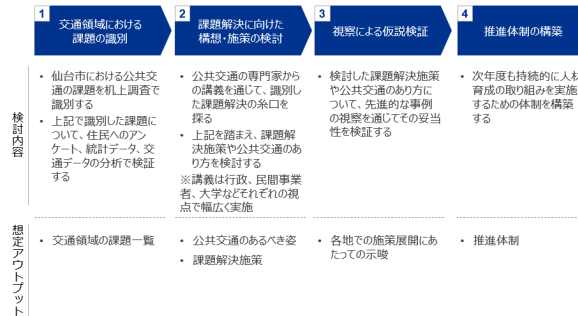


東北地方をモデルとした次世代交通人材育成事業(宮城県仙台市)

事業実施主体

【共創プラットフォーム】
 東北地方をモデルとした次世代交通人材育成事業
 【実施主体】株式会社Wasshoi Lab
 【共創パートナー】
 協力：KPMGコンサルティング株式会社・仙台中央タクシー株式会社・株式会社 LADDA Design
 後援：東北運輸局・一般社団法人宮城創生DMO

事業実施地域・手順



事業実施地域：仙台市を中心とした東北六県（宮城・青森・岩手・秋田・山形・福島）地図引用：国土地理院

地域課題

- 都市部について：ビジネス客や観光客、住民という属性や年齢などにより異なるニーズに対応した移手段の確保やその環境整備が必要。
- 地方について：人口密度が低く移動需要が少ないなかで、広範囲にわたる移動ニーズに対応するためには、公共交通サービスレベルや人口分布などの地域の状況に応じて、生活に必要な移手段の確保が必要。

実証事業の内容

新たな公共交通の在り方、およびその持続的な運営をテーマに、宮城創生DMOなど観光人材や交通事業者を対象にした講義、実践型のワークショップを行い生活交通をインプットすることにより、交通×まちづくりという観点で公共交通の在るべき姿や課題解決施策を多角的な視点で検討する。

事業スケジュール

項目	スケジュール				
	11	12	1	2	3
■補助金交付申請		←→			
■参加者募集		←→			
■各種調査・課題整理		←→			
■講義		←→			
		←→			
■実践型ワークショップ		←→			
		←→			
■視察・ヒアリング		←→	★	★	★
		←→			
■基本構想素案作成			←→		
■実績報告(2024/2/29まで提出予定)					★

今後の展開

本事業で作成した公共交通課題に対する打ち手の基本構想素案を計画に落とし込み、実証事業などを実施する予定。他事業で実施しているワークショップやイベントなどと連携し、本事業で実施した形式の講義やワークショップを実施することで、交通事業者、住民、観光客などの意見を継続的に反映し、合意形成しながら推進できる人材を育成する。